

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	245	学校名	仙台市立八乙女中学校	校長名	齋藤 亘弘
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

【生活の中に「エコ」を取り入れよう】



2 取組の紹介

(1) 美助っ人活動

◇校内で参加者を募り、学区内の諸活動に生徒を派遣しボランティア活動を行っています。今年度も生徒や地域の方々が安全で快適に過ごせるような環境を保つための各種活動を実施しました。(橋や階段の清掃活動, 駅前町内会花壇整備活動, 夏祭りの手伝い, 防犯キャンペーンの手伝い)



地域の清掃活動

町内会花壇整備活動



古紙回収ボックス



美助っ人活動表彰

(2) ボランティア委員会活動

◇古紙回収ボックスを積極的に使用するよう呼び掛けを行い、一人一人のリサイクルに対する意識を高めました。
◇緑の募金活動では、地球温暖化の防止や地域・学校の緑化など、森林を増やす活動のことを生徒たちに伝え、今年度は9,318円集めることができました。

(3) クラスでの取組

◇冬期間は、表面を黒くしたペットボトルに水を入れ、日光に当てたりヒーターの上で温めたりして清掃用の水として活用しエネルギーの節約をしました。

◇毎日のゴミ分別収集を各学級で実践しました。



清掃用の水



修学旅行先での学習

(4) 学年での取組 SDGs の学習

◇校外学習, 野外活動, 修学旅行では、事前学習からSDGsをテーマにした学習に取り組んできました。旅行先での見学や体験を通してSDGsへの理解を深めました。また、文化祭で学年毎に取り組んだ内容についての発表を聞き、情報を共有することで新たな視点で生活を見直すきっかけができました。

(5) 学校での取組

◇コンポストを設置して学校整備中に出た葉などの有機物を、微生物の働きにより発酵・分解して堆肥を作る試みを行っています。焼却処分するための手間, 燃料や費用が減り、二酸化炭素の排出量が削減されるなど環境に良いことがたくさんあります。



コンポストの活用

3 取組の成果

学校全体でSDGsをテーマにした内容を扱うことが多く、各学年の校外学習でもSDGsをテーマとして3年間を通じて学習してきました。そのため、身近なものとして捉えている生徒が今まで以上に多くなっています。成果として表れていると感じるのは、本校の特色の一つである美助っ人活動(ボランティア活動)に130名以上の参加希望があったことです。持続可能な社会を創っていくためには、どうすれば良いのかということを深く学び考え、自分ができることを行動に移していく力が付くよう今後も継続していきたいと考えています。